

# 令和5年度 第2回佐賀市農業・農村活性化懇談会

---

R5.10.6

農林水産部農業振興課

# I 令和4年度の進捗状況等について (第3次佐賀市農業振興基本計画)

※詳細は第3次佐賀市農業振興基本計画（冊子または市HP掲載データ）をご覧ください。

# 基本目標 1 稼げる農業の確立

## 施策 1-1 佐賀市の強みを活かした農畜産物の生産

### (1) 水田農業の振興

安全・安心といった消費者ニーズに対応した米づくり（減農薬、減化学肥料）、需要に応じた麦の生産、実需者ニーズに即した高品質な大豆の安定供給を推進しています。

### (2) 水田フル活用の推進

裏作麦の作付け拡大と転作大豆の振興を図っています。また、米粉用米、飼料用米、加工用米の作付けを推進しています。

### (3) 野菜生産の振興

多様な需要、地域特性、担い手の状況等に応じた野菜生産の拡大を推進しています。また、ブロッコリーや冬どりタマネギ等の新品目の生産を促進しています。

### (4) 果樹生産の振興

消費者ニーズに応じた売れるミカンの生産と競争力のある産地構築を推進しています。また、低コスト・省力化の支援や中山間地を中心にブルーベリーやリンゴなど、特色ある果樹の生産振興に取り組んでいます。

### (5) 花き生産の振興

需要に応じた花き生産を推進するとともに、省力化・低コスト化による経営力の強化に取り組んでいます。

### (6) 畜産の振興

優良な種雌牛の導入等を支援することにより、畜産農家の所得向上と経営の安定化を図っています。

# 基本目標 1 稼げる農業の確立

指 標	単 位	第3次計画の目標値							目標達成率
		2017 (H29) 現状値	2018 (H30) 実績	2019 (R1) 実績	2020 (R2) 実績	2021 (R3) 実績	2022 (R4) 実績	2023 (R5) 目標値	R4実績 /R5目標
土地利用率(表作・裏作)	%	164.6	160.7	164.6	165.4	165.2	165.4	168.0	98.5%
農業経営体が新たな農産物の生産にチャレンジした件数	件	13	11	14	12	10	8	16	50.0%
主要野菜の生産面積 ※いも類を除く	ha	295	280	323	345	352	353	295	119.7%
主要果樹の生産面積	ha	130	139	153	185	171	171	130	131.5%
主要花きの生産面積	ha	30	21	33	27	25	25	30	83.3%
主要畜産保有頭数(肉用牛)	頭	1,313	1,326	1,335	1,315	1,305	1,262	1,300	97.1%

# 基本目標 1 稼げる農業の確立

## 施策 1-2 スマート農業の推進

### (1) スマート農業の推進

- ・先進技術を活用した省力化・効率化・高付加価値化などを図るため、スマート農業機器の導入に際しては、国や県の補助事業を斡旋・紹介するほか、ドローンや水管理システムなど比較的低価格帯のスマート農業機器の導入については、市独自の支援も行っています（R4～）。
- ・スマート農業の普及・啓発に向けては、「ゆめファーム全農SAGA」の実証成果を市内農業者へ紹介するほか、有識者による講演やスマート農業機器の実演・展示などを行っていきます。



ドローンによる防除



水田における水管理システム

指 標	単 位	第3次計画の目標値							目標達成率
		2017 (H29) 現状値	2018 (H30) 実績	2019 (R1) 実績	2020 (R2) 実績	2021 (R3) 実績	2022 (R4) 実績	2023 (R5) 目標値	R4実績 /R5目標
スマート農業機器導入農家戸数	戸	-	-	-	-	6	29	54	53.7%

※指標は令和3年度に設定

※本市の他、国・県等の支援により機器を導入した農家など、本市が機器導入を把握した農家戸数を指標とする。

# 基本目標 1 稼げる農業の確立

## 施策 1-3 付加価値を高める農産加工の振興

### (1) 農業の6次産業化・農商工連携の推進

市6次産業認定制度『いいモノさがし』による農林水産物の付加価値の向上と販路の拡大、地域イメージの向上を推進しています。また、農業者と商工業者とのマッチングの推進や、地域の農業者、農業者グループ等による農産加工（1次加工等を含む）の取組に対して支援を行っています。



『いいモノさがし』認定品



農産加工に係る経費支援  
(味噌用攪拌機)



農商工連携  
(唐辛子栽培現地研修会の様子)

指 標	単 位	第3次計画の目標値							目標達成率
		2017 (H29) 現状値	2018 (H30) 実績	2019 (R1) 実績	2020 (R2) 実績	2021 (R3) 実績	2022 (R4) 実績	2023 (R5) 目標値	R4実績 /R5目標
市6次産業認定品『いいモノさがし』認定件数	件	31	33	41	30	36	37	43	86.0%

# 基本目標 1 稼げる農業の確立

## 施策 1-4 ブランド化と販路拡大

### (1) ブランドの育成

全国的に品質が認められた「さがびより」「夢しずく」や中山間地域の「コシヒカリ」など、地域の特性を活かした良食味の米づくりの推進や、差別化が可能な付加価値の高い野菜、果樹などの生産振興を図っています。

### (2) 販路拡大とブランドイメージ向上

- ・ 商談会や販売イベント等への農産物や加工品の出展の斡旋や、関係団体との連携の下、大消費地である都市圏の市場をターゲットとしたPRイベントや百貨店などへの売り込みを実施しています。
- ・ 佐賀県農林水産物等輸出促進協議会と連携して輸出に意欲がある農家の支援を行っています。
- ・ 生産者による直売やインターネット販売など、新たなチャンネルでの販売の取組に対する支援や、各種メディアを活用した市の農産物や特産加工品の情報を発信しています。



商談会への出展



伊勢丹浦和店での販促活動



さくらマラソンでのPRの様子  
(いちご・ミニトマト)

指 標	単 位	第3次計画の目標値							目標達成率
		2017 (H29) 現状値	2018 (H30) 実績	2019 (R1) 実績	2020 (R2) 実績	2021 (R3) 実績	2022 (R4) 実績	2023 (R5) 目標値	R4実績 /R5目標
新たに販路を開拓した件数(延べ数)	件	68	86	102	106	113	119	120	99.2%

# 基本目標 2 担い手の育成と確保

## 施策 2-1 担い手の育成

### (1) 集落営農組織・法人組織の育成

- ・ 地域農業の将来について地域住民での話し合いを行った結果、法人化への意向のある集落営農組織に対しては、研修会や視察などに係る経費の補助や類似事例等の紹介など、関係機関とともに支援を行っています。
- ・ また、集落営農組織から法人化した組織で構成されている「佐賀市農業法人連絡協議会」が行う研修会や視察に係る経費を補助し、法人設立後の支援を行っています。



市農業法人連絡協議会の研修会・アバンセ

### (2) 認定農業者の育成

- ・ 地域農業の主たる経営体として経営感覚に優れた認定農業者や認定新規就農者の育成を行っています。
- ・ 農業機械の導入や施設の整備に対する国・県・市の補助事業による支援や農地中間管理機構を活用した農地の集約も推進しています。

指 標	単 位	第3次計画の目標値							目標達成率
		2017 (H29) 現状値	2018 (H30) 実績	2019 (R1) 実績	2020 (R2) 実績	2021 (R3) 実績	2022 (R4) 実績	2023 (R5) 目標値	R4実績 /R5目標
法人化した集落営農組織数(全体120組織中)	組織	29	29	29	37	38	38	120	31.7%
認定農業者数(うち法人数)	経営体	1,021 (51)	1,013 (52)	998 (52)	921 (54)	898 (56)	887 (58)	1,030 (60)	86.1%

# 基本目標 2 担い手の育成と確保

## 施策 2-2 次世代の担い手の確保と育成

### (1) 新規就農者の確保・育成

- ・新規就農相談に関して関係機関が総合的に対応するワンストップ窓口の設置や、トレーニングファーム事業の推進による担い手の確保・育成を図っていきます。
- ・「経営開始資金」や「経営発展支援事業」などを活用した新規就農者の支援を行うとともに、「ニューファーマー塾」など県やJAなどが主催する研修会等への参加促進を図っています。



トレーニングファーム3・4期研修生

### (2) 多様な担い手の確保・育成

- ・方針決定の場に女性の参画が進むよう、女性を含む認定農業者や家族経営協定の締結の促進を図っていきます。また、女性組織や女性を含む生産部会などの活動への支援を行っています。
- ・地域農業における新たな労働力確保による産地規模の維持と地域農業の活性化を図るため、また障がいのある方の就労の場の拡大や自立支援に繋げるように、佐城地区農福連携推進協議会などの関係機関とともに、農業者の経営発展と障がいのある方の社会参画を推進していきます。



STETの箱詰め作業  
(農福連携事業)

指 標	単 位	第3次計画の目標値							目標達成率
		2017 (H29) 現状値	2018 (H30) 実績	2019 (R1) 実績	2020 (R2) 実績	2021 (R3) 実績	2022 (R4) 実績	2023 (R5) 目標値	R4実績 /R5目標
新規就農者数(2019年から2023年までの延べ数)	人	-	-	22	42	68	90	150	60.0%
家族経営協定の締結数	件	253	240	233	224	233	235	280	83.9%

# 基本目標 3 生産基盤づくり

## 施策 3-1 生産基盤の確保

### (1) 優良農地確保のための計画的な土地利用の推進

農業振興地域整備計画や農地転用許可制度により、優良農地を確保しつつ、計画的な土地利用を推進します。また、農業委員会による農地パトロールを実施し、違反転用及び遊休農地の解消・発生防止を推進しています。



農業委員による現地調査

### (2) 農業生産基盤の整備と保全

- ・ 担い手への農地利用集積や農地の高度利用による生産性の一層の向上を図るため、農地の基盤整備や地域農業の振興及び生産性の向上を図るための農道整備を推進しています。
- ・ 農業用水の安定的な確保と合理的利用を目的とした老朽化した施設の改良・整備を図り、麦、大豆の生産性を高める排水対策を推進しています。
- ・ 高付加価値作物の新たな導入や安定した農業生産を可能にするためのクリークの護岸整備をはじめとした地盤沈下対策を推進し、農地等の保全を図っています。

# 基本目標 3 生産基盤づくり

## 施策 3-1 生産基盤の確保

### (3) 有害鳥獣等被害防止対策の強化

農家自身が行う取組を支援するとともに、猟友会とも連携しながら、農作物被害を及ぼす鳥獣を寄せ付けない「棲み分け対策」、侵入防止柵の適切な設置・管理による「侵入防止対策」、銃や罠による「捕獲対策」の3本柱を中心とした対策を実施しています。

### (4) 多様な農業生産活動等を通じた多面的機能の発揮

中山間地域等直接支払制度や多面的機能支払制度を活用することにより、地域による農業生産活動の維持や農村環境の保全等を図っています。

指 標	単 位	第3次計画の目標値							目標達成率
		2017 (H29) 現状値	2018 (H30) 実績	2019 (R1) 実績	2020 (R2) 実績	2021 (R3) 実績	2022 (R4) 実績	2023 (R5) 目標値	R4実績 /R5目標
農振農用地区域面積	ha	12,682	12,675	12,447	12,440	12,438	12,437	12,608	98.6%
耕作放棄地面積	ha	124	121	118	119	104	99	72	72.7%
鳥獣による農作物被害金額	千円	16,887	23,369	27,340	26,696	18,740	11,035	12,400	112.4%
中山間地域等直接支払制度協定面積	ha	1,218	1,219	1,218	1,134	1,151	1,152	1,218	94.6%
資源向上支払(共同活動)協定農地面積	ha	4,026	4,018	4,079	7,707	7,787	7,778	4,026	193.2%
資源向上支払(長寿命化)協定農地面積	ha	6,074	6,067	6,749	7,505	7,779	7,845	6,074	129.2%

※「耕作放棄地面積」及び「鳥獣による農作物被害金額」の目標達成率の計算は、R5目標/R4実績

# 基本目標 4 生産者と消費者の相互理解の促進

## 施策 4-1 地産地消の推進

### (1) 地産地消の推進

- ・佐賀市や生産者、JA、小売店等で組織する佐賀市特産物振興協議会では、新鮮で、安全・安心な市産農産物の地産地消を推進するため、「ファーム・マイレージ運動」の展開や市内の学校等の栄養士を招いた産地見学会、市街地の小学校児童を対象とした米づくり学習会を開催しています。
- ・また、地産地消の核となる各地域の農産物直売所等のエリアマップを作成し、PRの強化と集客力向上に努めています。

### (2) 生産者と消費者の「食と農」の相互理解の推進

農産物直売所等における生産者の顔写真やこだわり、生産履歴の表示など、生産者や農産物の情報発信を推進しています。また、インターネットやパンフレット等を活用した本市農業や農産物の情報提供を行うとともに、生産者自らが消費者に対面販売する農産物フェア等を開催し、生産者と消費者の交流機会の創出に努めています。



ファーム・マイレージ運動店頭PRの様子



米づくり学習会の様子



指標	単位	第3次計画の目標値							目標達成率 R4実績/R5目標
		2017 (H29) 現状値	2018 (H30) 実績	2019 (R1) 実績	2020 (R2) 実績	2021 (R3) 実績	2022 (R4) 実績	2023 (R5) 目標値	
ファーム・マイレージ運動協力店数	店	37	38	38	51	52	52	45	115.6%
ファーム・マイレージキャンペーン応募口数	口	3,134	2,924	3,863	5,480	8,878	8,067	5,140	156.9%
地産地消推進店数	店	17	18	18	19	24	27	25	108.0%
農業体験への参加者数(幼児~小学生)	人/年	9,028	12,206	10,678	15,802	14,585	13,567	10,000	135.7%

冊子「地産地消のススメ」  
直売所等エリアマップ

# 基本目標 4 生産者と消費者の相互理解の促進

## 施策 4-2 生きがい型農業の促進

### (1) 市民農園の推進

市民等が農業にふれあう機会を提供し、農業に対する理解の促進を図るため、佐賀市三瀬体験農園の運営や街なか体験農園を開催するほか、生産者等が運営する市民農園（14か所）の広報を行っています。

### (2) 都市住民への農業知識と技術の提供

農産物の栽培方法や環境保全型農業などの知識や技術を分かりやすく提供する農業研修を実施しています。



街なか体験農園の様子（芋の植付）



有機農業研修の様子（ネギの植付）

指 標	単 位	第3次計画の目標値							目標達成率
		2017 (H29) 現状値	2018 (H30) 実績	2019 (R1) 実績	2020 (R2) 実績	2021 (R3) 実績	2022 (R4) 実績	2023 (R5) 目標値	R4実績 /R5目標
市民農園の利用率	%	86	87	84	80	80	85	90	94.4%
都市住民の農業研修修了者数(延べ数)	人	134	141	141	155	166	199	190	104.7%

# 基本目標 4 生産者と消費者の相互理解の促進

## 施策 4-3 人と環境にやさしい農業の推進

### (1) 環境にやさしい農業の推進

- ・人と環境にやさしい農業の普及を図り、持続可能な農業を推進するため、有機JAS認定取得に取り組む農家を支援するとともに、市民の有機農業への理解促進のため、親子向けの体験学校を開催しています。
- ・また、わらのすき込みや堆肥施用等による土づくりも推進しています。
- ・「バイオマス産業都市構想」に基づき、下水浄化センターの下水道由来堆肥の活用や、佐賀市清掃工場から排出される二酸化炭素や余熱の農業への利活用を図っています。



ほんなもんぼ体験学校の様子（芋ほり）

### (2) 安全・安心の取組の推進

生産者のGAPの取組みを推進するとともに、農薬の適正使用の遵守に取り組んでいます。

指 標	単 位	第3次計画の目標値							目標達成率
		2017 (H29) 現状値	2018 (H30) 実績	2019 (R1) 実績	2020 (R2) 実績	2021 (R3) 実績	2022 (R4) 実績	2023 (R5) 目標値	R4実績 /R5目標
有機JAS認定件数	件	6	5	4	4	4	5	10	50.0%
すき込みなどを行ったわらの有効活用の割合	%	93	93	93	92	91	91	100	91.0%

# 基本目標 5 農山村の振興

## 施策 5-1 活力にあふれた農山村の形成

### (1) 地域住民が主体となった農山村の振興

地域住民が当該地域の課題や将来について話し合いを深め、活性化のための集落ビジョン等を作成し、実行する体制づくりを推進しています。

### (2) 地域の特性を活かした中山間地域の活性化

異業種や都市と連携した中山間地域の活性化や、豊かな食・環境・観光の情報発信により、交流人口の増加を図っています。

### (3) グリーンツーリズムの推進

佐賀市ならではのグリーンツーリズム（農業体験、農家民泊、直売所・農家レストラン等）を推進するとともに、実践者の育成を図り、魅力あるグリーンツーリズムを推進しています。



富士町栗並集落で  
集落ビジョン作成の話し合い



交流活動の様子



農業体験の様子（田植え）



農家民泊

指 標	単 位	第3次計画の目標値							目標達成率
		2017 (H29) 現状値	2018 (H30) 実績	2019 (R1) 実績	2020 (R2) 実績	2021 (R3) 実績	2022 (R4) 実績	2023 (R5) 目標値	R4実績 /R5目標
それぞれの中山間チャレンジ事業に取り組む集落数	組織	-	3	4	4	4	4	5	80.0%
グリーンツーリズム実践者数	人	16	17	18	17	17	19	25	76.0%
体験交流等活動団体数	団体	16	17	18	17	15	16	25	64.0%
主な直売所の利用者数(中山間地)	千人	554	509	503	463	500	517	600	86.2%

# 基本目標 5 農山村の振興

## 施策 5-2 快適で住みよい農山村づくり

### (1) 快適な生活環境の整備

- ・ 集落内の水環境を保全・復元するために集落内水路を整備するとともに、集落内の道路についても、利便性や緊急自動車の通行を確保するために整備を進めています。
- ・ 棚田景観やクリーク景観など、特徴ある農村景観を保全します。また、生態系に著しく影響を及ぼす外来生物の侵入防止・駆除に努めています。

#### ◆ 集落内水路の整備状況



整備前



整備後

#### ◆ 集落内道路の整備状況



整備前



整備後

指 標	単 位	第3次計画の目標値							目標達成率
		2017 (H29) 現状値	2018 (H30) 実績	2019 (R1) 実績	2020 (R2) 実績	2021 (R3) 実績	2022 (R4) 実績	2023 (R5) 目標値	R4実績 /R5目標
農村振興総合整備事業佐賀地区(2012年度～2021年度)により新たに整備する <b>集落道路</b> 距離(延べ数)	m	1,685	2,154	2,267	2,267	2,267	2,267	2,284	99.3%
農村振興総合整備事業佐賀地区(2012年度～2021年度)により新たに整備する <b>集落水路</b> 距離(延べ数)	m	14,027	14,848	15,709	17,241	18,338	18,950	20,197	93.8%

※終了年度は、2021年度から2024年度（令和6年度）に変更し、集落道路距離は、工事完成により目標値は2,284mから2,267mに計画変更した。目標達成率は、100%

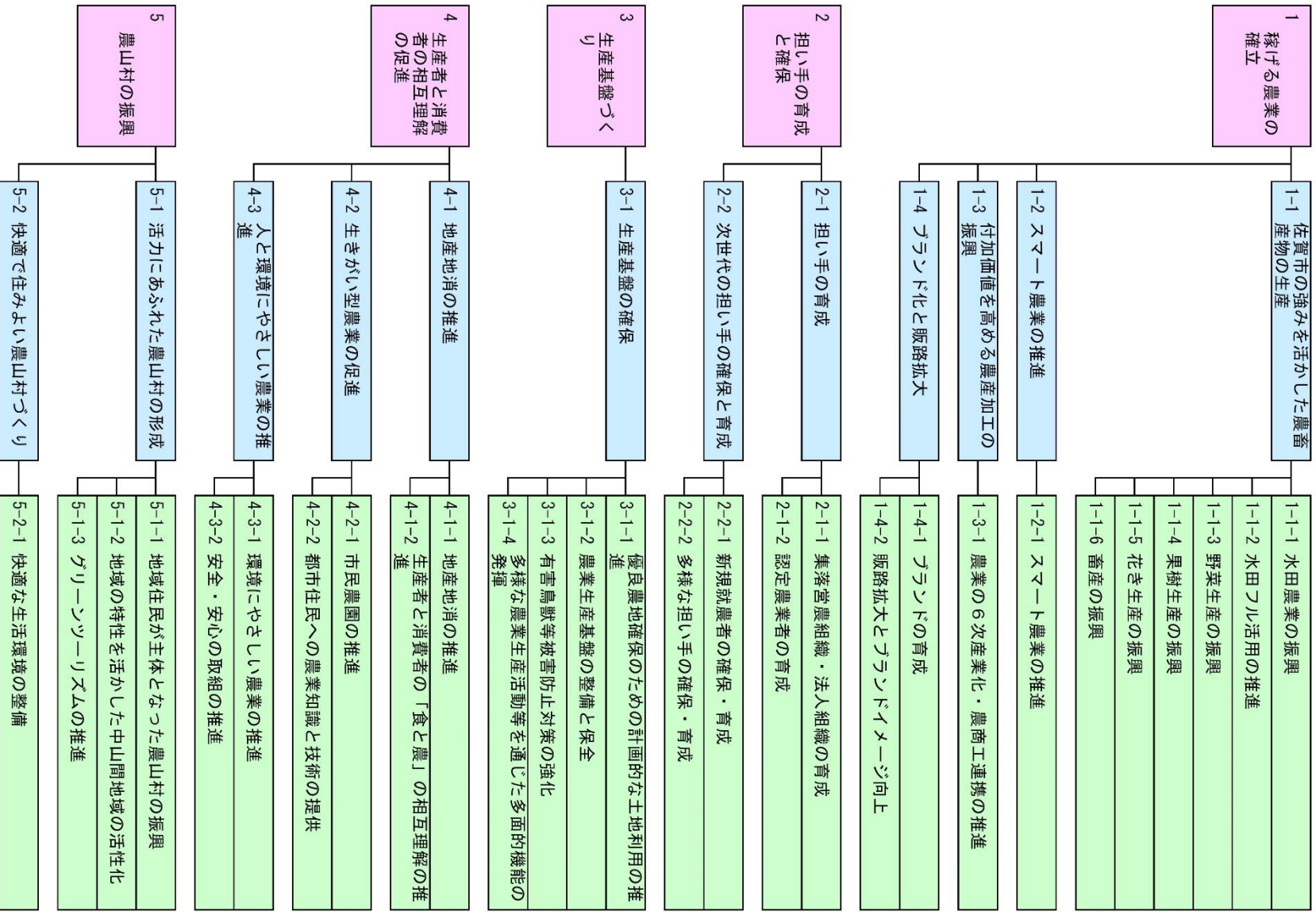
## Ⅱ 次期計画案(大枠)について

将来像

基本目標

施策

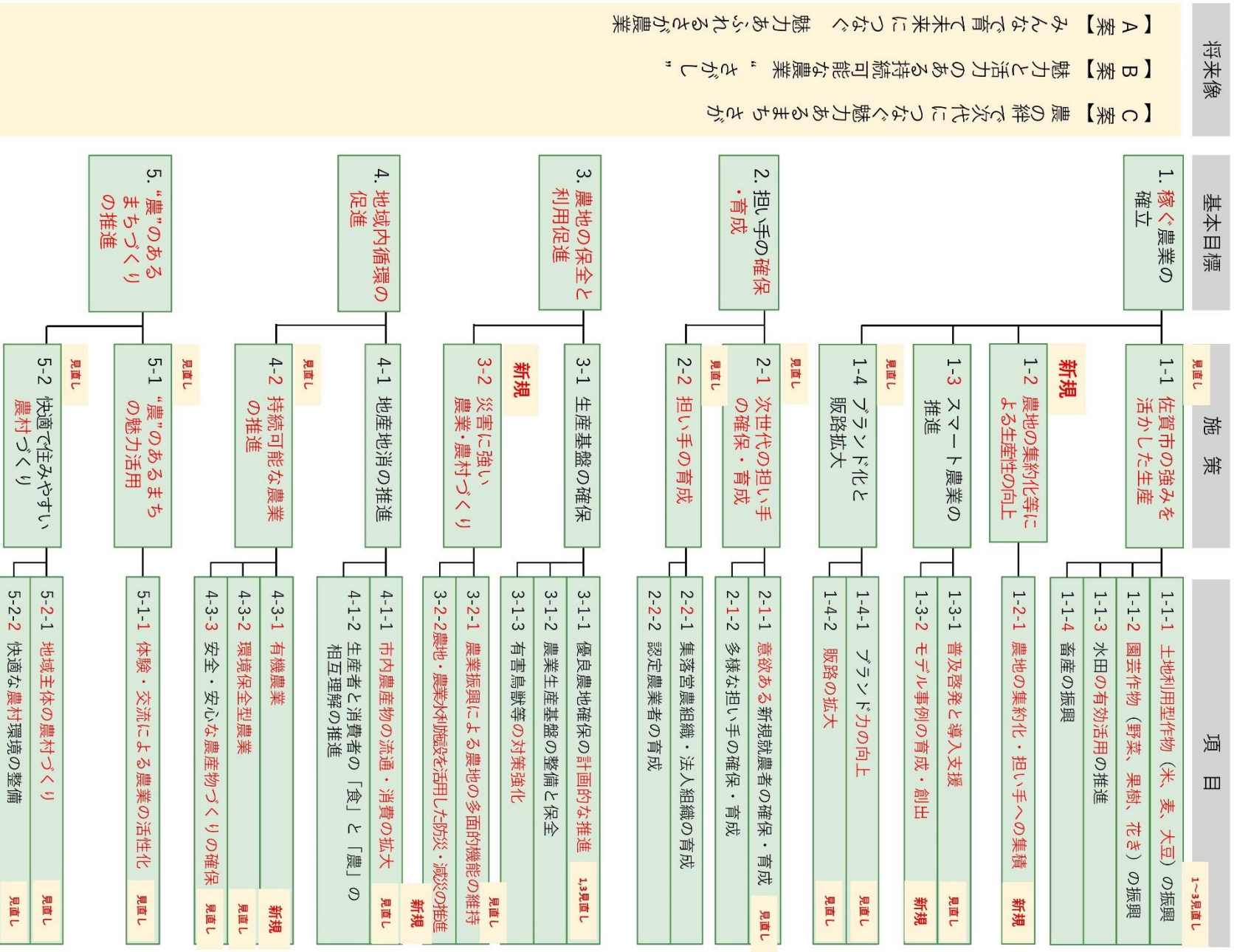
項目



人を結び未来に向かう さがん、農

# 施策体系図 (案)

赤字：現行計画からの変更箇所



# 基本目標 1. 稼ぐ農業の確立 (施策1-1～1-2)

※灰色の枠は現行計画の施策です。

## 基本目標

1. 稼ぐ農業の確立

1. 稼げる農業の確立

見直し

## 施策

1-1 佐賀市の強みを活かした生産

1-1 佐賀市の強みを活かした農畜産物の生産

新規

1-2 農地の集約化等による生産性の向上

—

## 項目

1-1-1 土地利用型作物（米、麦、大豆）の振興

見直し

1-1-1 水田農業の振興

1-1-2 園芸作物（野菜、果樹、花き）の振興

見直し

1-1-3 野菜生産の振興

1-1-4 果樹生産の振興

1-1-5 花き生産の振興

1-1-3 水田の有効活用の推進

見直し

1-1-2 水田フル活用の推進

1-1-4 畜産の振興

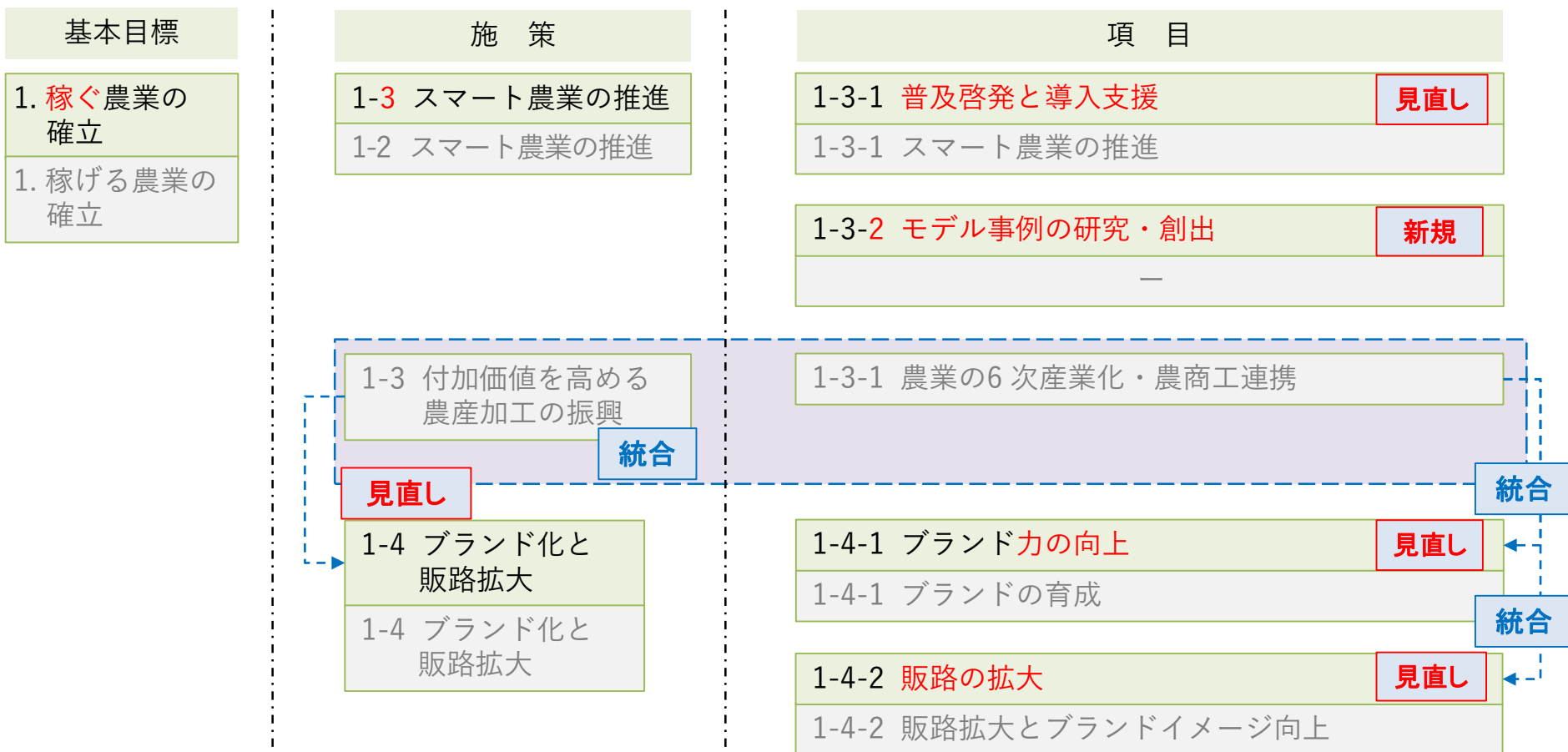
1-1-6 畜産の振興

1-2-1 農地の集約化・担い手への集積

新規

—

# 基本目標 1. 稼ぐ農業の確立 (施策1-3~1-4)



## 基本目標 2. 次世代の担い手の確保・育成 (施策2-1~2-2)

### 基本目標

2. 担い手の確保・育成

2. 担い手の育成と確保

### 見直し

### 施策

2-1 次世代の担い手の確保・育成

2-2 次世代の担い手の確保と育成

### 見直し

2-2 担い手の育成

2-1 担い手の育成

### 項目

2-1-1 意欲ある新規就農者の確保・育成

見直し

2-2-1 新規就農者の確保・育成

2-1-2 多様な担い手の確保・育成

2-2-2 多様な担い手の確保・育成

2-2-1 集落営農組織・法人組織の育成

2-1-1 集落営農組織・法人組織の育成

2-2-2 認定農業者の育成

2-1-2 認定農業者の育成

# 基本目標 3. 農地の保全と利用促進 (施策3-1～3-2)

## 基本目標

- 3. 農地の保全と利用促進
- 3. 生産基盤づくり

## 施策

- 3-1 生産基盤の確保
- 3-1 生産基盤の確保

新規

- 3-2 災害に強い農業・農村づくり

## 項目

- 3-1-1 優良農地確保の計画的な推進 見直し
- 3-1-1 優良農地確保のための計画的な土地利用の推進
- 3-1-2 農業生産基盤の整備と保全
- 3-1-2 農業生産基盤の整備と保全
- 3-1-3 有害鳥獣等の対策強化 見直し
- 3-1-3 有害鳥獣等被害防止対策の強化

3-1-4 多様な農業生産活動等を通じた多面的機能の発揮

統合

3-2-1 農業振興による農地の多面的機能の維持

見直し

3-2-2 農地・農業水利施設を活用した防災・減災の推進

新規

# 基本目標 4. 地域内循環の促進

## (施策4-1～4-2)

### 基本目標

4. 地域内循環の促進

4. 生産者と消費者の相互理解の促進

### 施策

4-1 地産地消の推進

4-1 地産地消の推進

4-2 生きがい型農業の促進

見直し

4-2 持続可能な農業の推進

4-3 人と環境にやさしい農業の推進

### 項目

4-1-1 市内農産物の流通・消費の拡大

見直し

4-1-1 地産地消の推進

4-1-2 生産者と消費者の「食」と「農」の相互理解の推進

4-1-2 生産者と消費者の「食」と「農」の相互理解の推進

4-2-1 市民農園の推進

4-2-2 都市住民への農業知識と技術の提供

基本目標5  
に統合

4-3-1 有機農業

新規

4-3-2 環境保全型農業

見直し

4-3-1 環境にやさしい農業の推進

4-3-3 安全・安心な農産物づくりの確保

見直し

4-3-2 安全・安心の取組の推進

# 基本目標 5. “農”のあるまちづくりの推進 (施策5-1～5-2)

## 基本目標

5. “農”のあるまちづくりの推進

5. 農山村の振興

## 施策

見直し

5-1 “農”のあるまちの魅力活用

5-1 活力にあふれた農山村の形成

見直し

5-2 快適で住みやすい農村づくり

5-2 快適で住みやすい農山村づくり

## 項目

現行計画の施策4-2  
「生きがい型農業の促進」を統合

5-1-1 体験・交流による農業の活性化

見直し

5-1-2 地域の特性を活かした中山間地域の活性化

5-1-3 グリーンツーリズムの推進

5-1-1 地域住民が主体となった農山村の振興

施策構成の変更

5-2-1 地域主体の農村づくり

見直し

5-2-2 快適な農村環境の整備

見直し

5-2-1 快適な生活環境の整備